

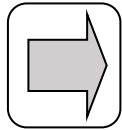
徳島県内経済情勢報告

令和 8 年 1 月









財 務 省
徳 島 財 務 事 務 所

徳島県内経済情勢報告

	令和7年10月判断	令和8年1月判断	総括判断の要点	10月判断との比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している 【5期連続据え置き】	<p>個人消費は、観光が回復しているほか、百貨店・スーパーが底堅く、コンビニエンスストアが堅調となっていることなどから、全体としては緩やかに持ち直している。</p> <p>生産活動は、はん用・生産用・業務用機械が緩やかに持ち直しているものの、化学が回復に向けたテンポが緩やかになっていることから、全体としては持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。</p> <p>雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。</p>	

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに持ち直していくことが期待される。ただし、今後の物価動向、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

項目	令和7年10月判断	令和8年1月判断	10月判断との比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している 【5期連続据え置き】	
生産活動	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている 【前回から判断据え置き】	
雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある 【7期連続据え置き】	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
設備投資	7年度は前年度を上回る見込み	7年度は前年度を下回る見込み	

※ 8年1月判断は、前回7年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

個人消費

緩やかに持ち直している

- 百貨店・スーパーは、衣料品が弱い動きとなっているものの、飲食料品が底堅い動きとなっていることから、全体としては底堅いものとなっている。
- コンビニエンスストアは、飲料やカウンターコーヒー等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

〔主なヒアリング結果〕

「百貨店・スーパー」

- 物価高による商品単価上昇に伴い、買上点数は減少している。特売日やポイントデーに消費が集中する傾向が依然として続いており、節約志向は根強い。

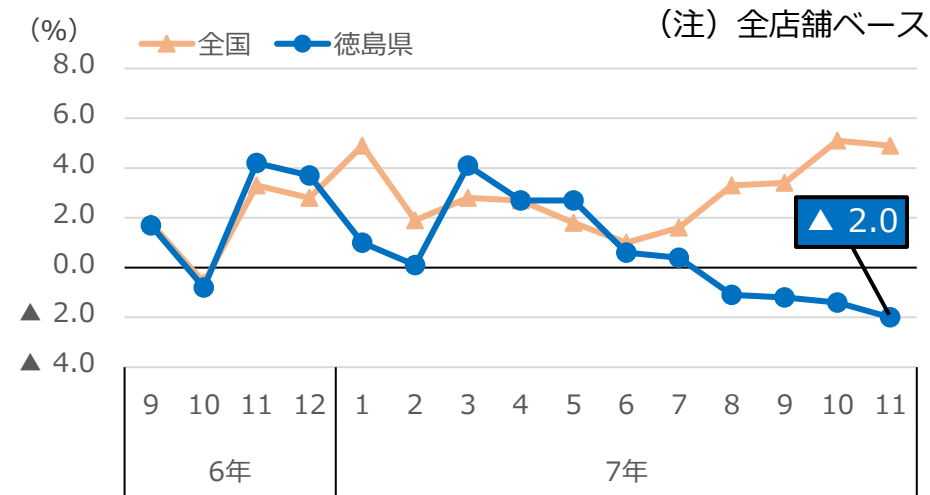
- 時短や即食など特定のニーズを満たす商品は好調が続いているが、相場高となっている品群の動きは鈍く、割高なものや優先度の低いものの購入を避ける傾向が顕著になってきている。

- ドラッグストアとの競合は日用品等にとどまらず、食品にも影響が及んでいる。

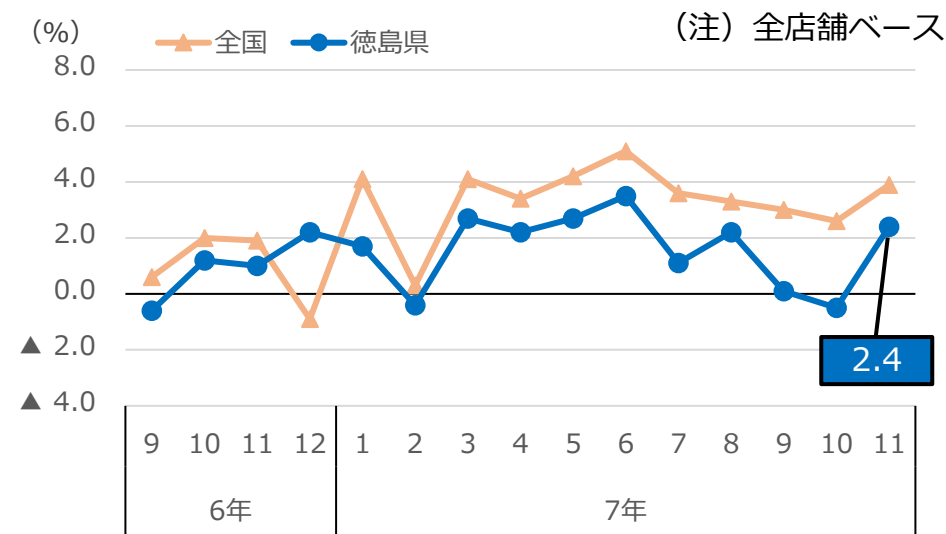
「コンビニエンスストア」

- 気温の低下に伴い、温かい飲料やカップ麺などが売上を伸ばしている。そのほかカウンターコーヒーやホットスナックの売上が前年を大きく上回る。

〔百貨店・スーパー販売額（前年同月比）〕



〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕



個人消費

- ドラッグストアは、医薬品や食料品に動きがみられることから、全体としては順調となっている。
- ホームセンターは、防犯用品の動きが鈍いものの、日用消耗品に動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。
- 家電大型専門店は、白物家電の動きが鈍いものの、パソコンに動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。
- 乗用車の新車登録・届出台数は、小型車が前年を上回っているものの、普通車、軽乗用車が前年を下回っていることから、全体としては前年同期（10～12月）を下回っている。
- 観光は、外国人観光客が増加していることから、回復している。
- 旅行は、国内旅行は緩やかに回復しつつあり、海外旅行は緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

「ホームセンター」

- 防犯用品については、前年の需要増加に対する反動減となっているが、日用消耗品については、洗剤や紙製品等が比較的堅調となっている。

「家電大型専門店」

- パソコンについては、10月のWindows10のサポート終了に伴う買い替え需要のため、前年を大きく上回っており、今期唯一の好調要素となっている。

「観光」

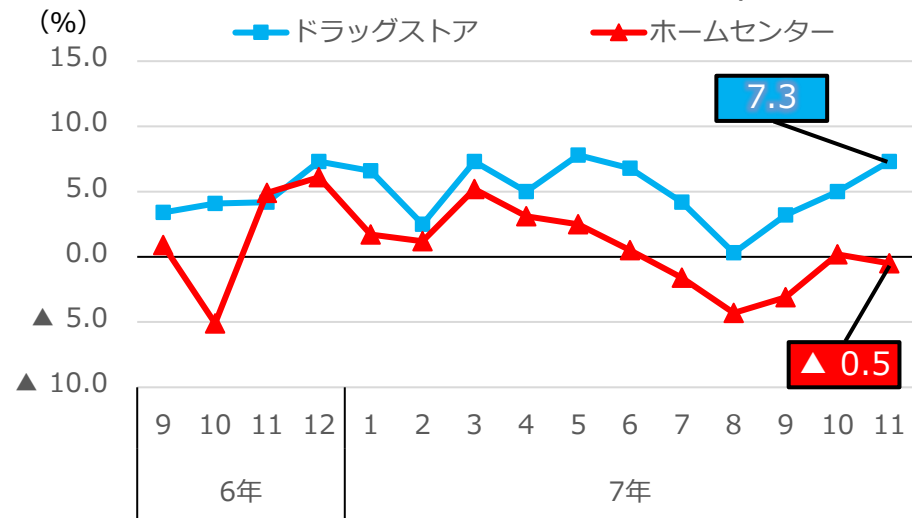
- 曜日配列や天候がよかったことから、11月を中心に国内観光客の入込みが好調であったほか、国際定期便利用の韓国人観光客などアジア圏を中心とした外国人観光客数が前年を大きく上回っている。

「旅行」

- 国内旅行については、万博終了後、近畿行きの取扱い数に落ち着きが見られる。海外旅行については、韓国行きが安定している。

〔徳島県の専門量販店販売額（前年同月比）〕

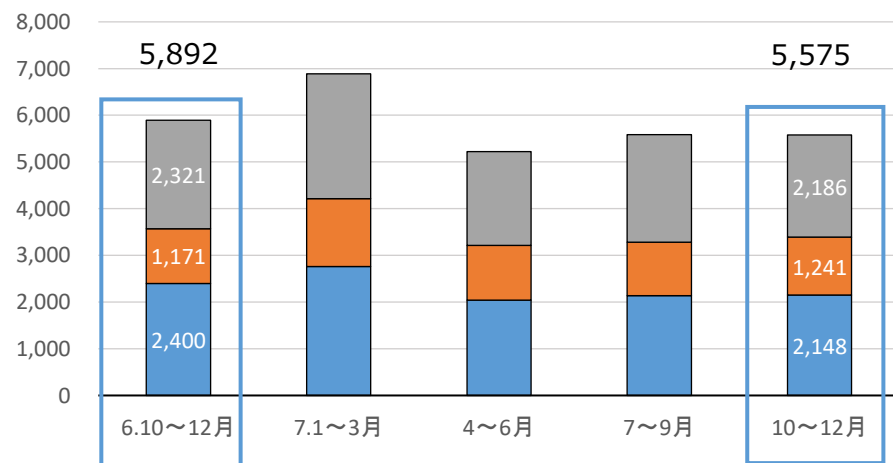
（注）全店舗ベース



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

〔徳島県の乗用車新車登録・届出台数〕

■普通車 ■小型車 ■軽乗用車



【出所】（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会のデータから算出 3

生産活動

生産活動

持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

○化学は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。

○金属製品は、緩やかに持ち直しつつある。

○木材・木製品は、弱い動きとなっている。

〔主なヒアリング結果〕

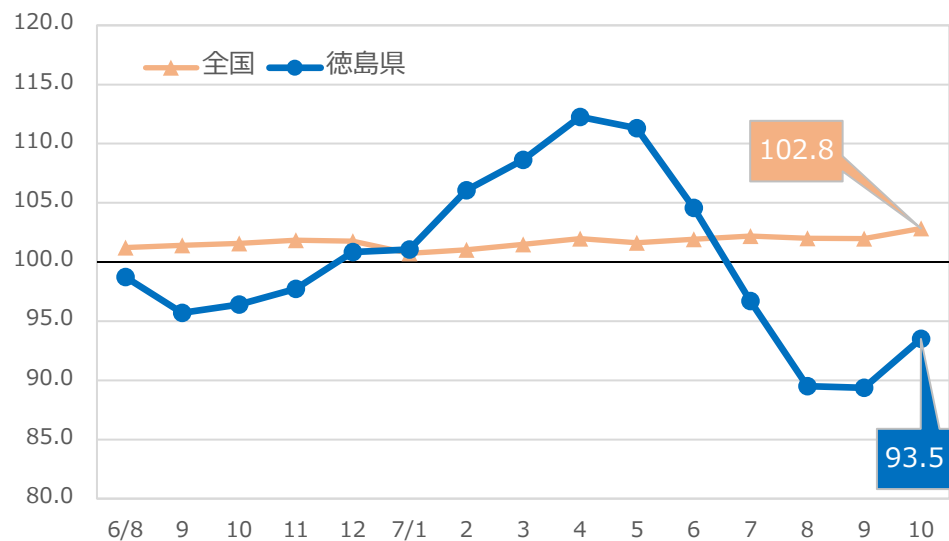
«化学»

○設備更新に伴う生産停止の影響で、生産量が大きく減少していたが、その後は在庫調整を伴いつつも下げ止まっている。

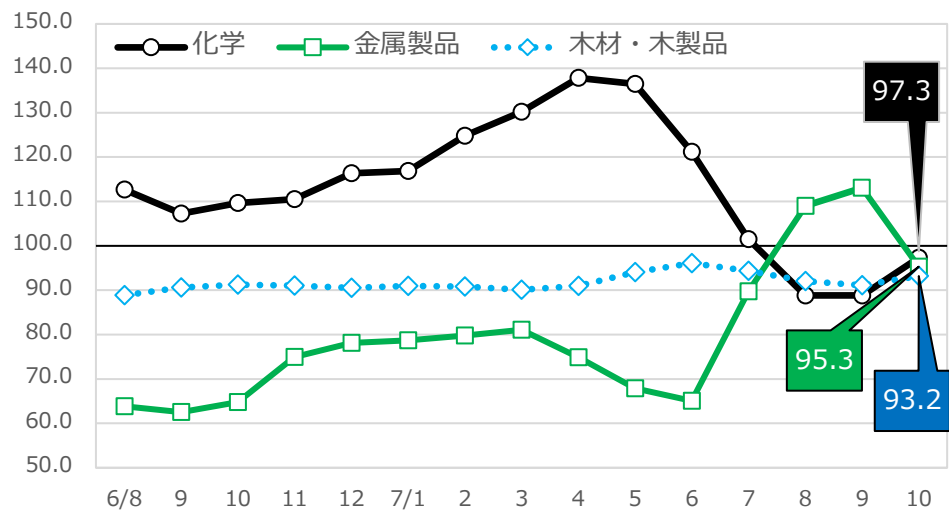
«金属製品»

○自動車向けや公共事業の受注は安定している。

〔徳島県の鉱工業生産指数(季節調整済指数、3か月移動平均、令和2年=100)〕



【出所】経済産業省、徳島県の公表データから算出



【出所】徳島県の公表データから算出

生産活動

○電気機械は、足踏みの状況にある。

○はん用・生産用・業務用機械は、緩やかに持ち直している。

○食料品・飲料・飼料は、緩やかに持ち直しつつある。

○パルプ・紙・紙加工品は、緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

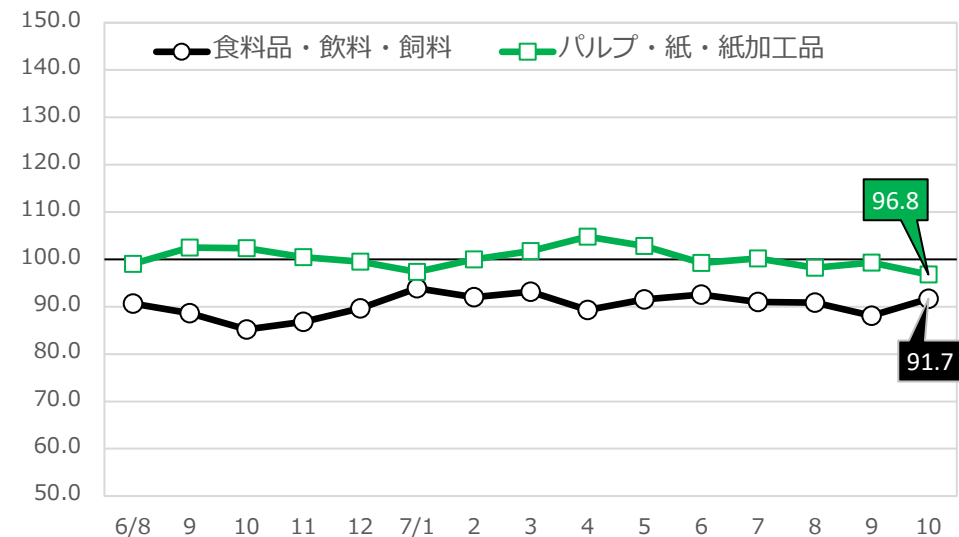
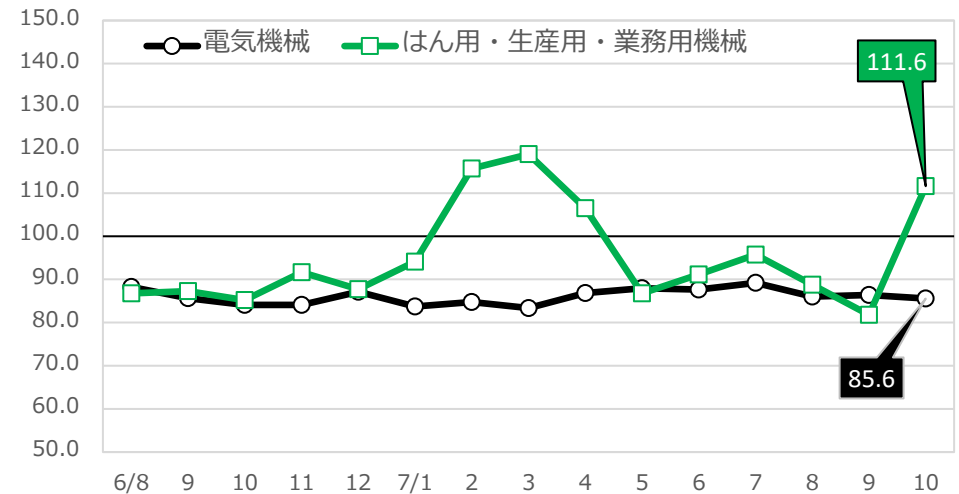
《電気機械》

○電子機器向けの需要は横ばい圏内の動きである。

《はん用・生産用・業務用機械》

○生産用機械は大型案件の納品完了に伴い、生産指数が上昇している。

〔徳島県の鉱工業生産指数(季節調整済指数、3か月移動平均、令和2年=100)〕



【出所】徳島県の公表データから算出

雇用情勢

雇用情勢

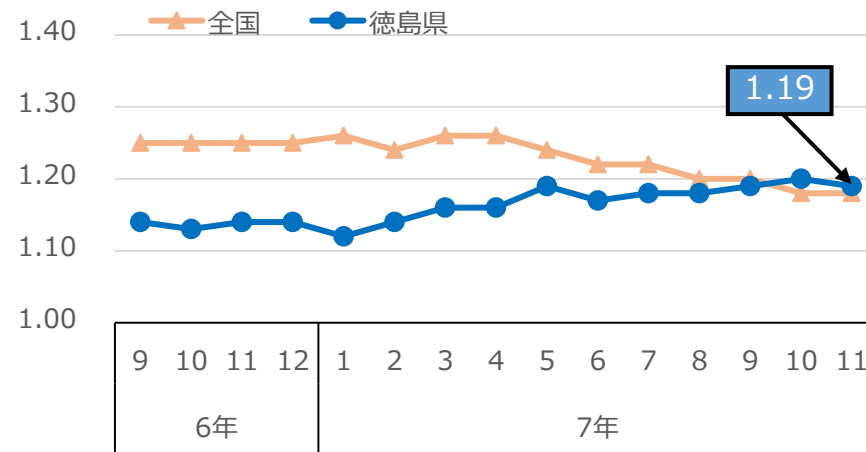
緩やかに持ち直しつつある

○有効求人倍率は、概ね横ばいの状況である。

○新規求人数は、前年同期（9－11月）を下回っている。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕

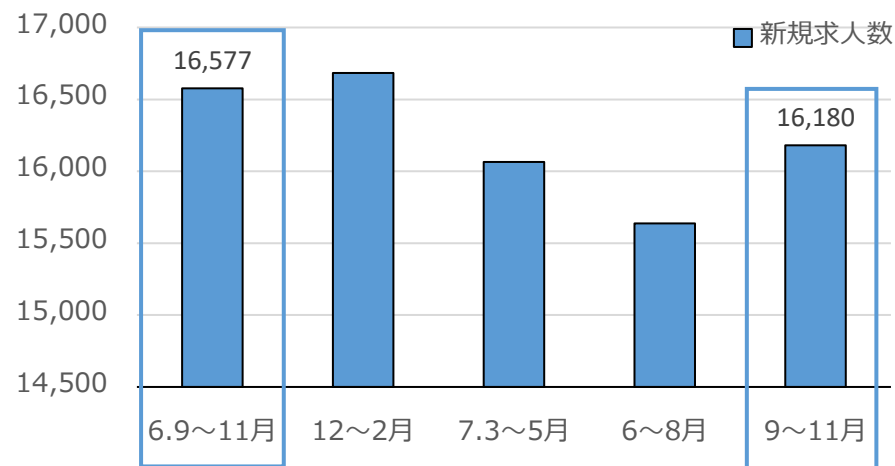
（倍）



【出所】厚生労働省

〔徳島県の新規求人数（原数値）〕

（人）



【出所】厚生労働省の公表データから算出

〔主なヒアリング結果〕

○前年同期比では、有効求人数は横ばい、有効求職者数は減少となったが、大きな方向性的変化があるものとはみていない。

○人手不足の影響について、建設業や医療業の事業主から、求人が充足せず人員不足で苦慮しているとの声を伺っている。

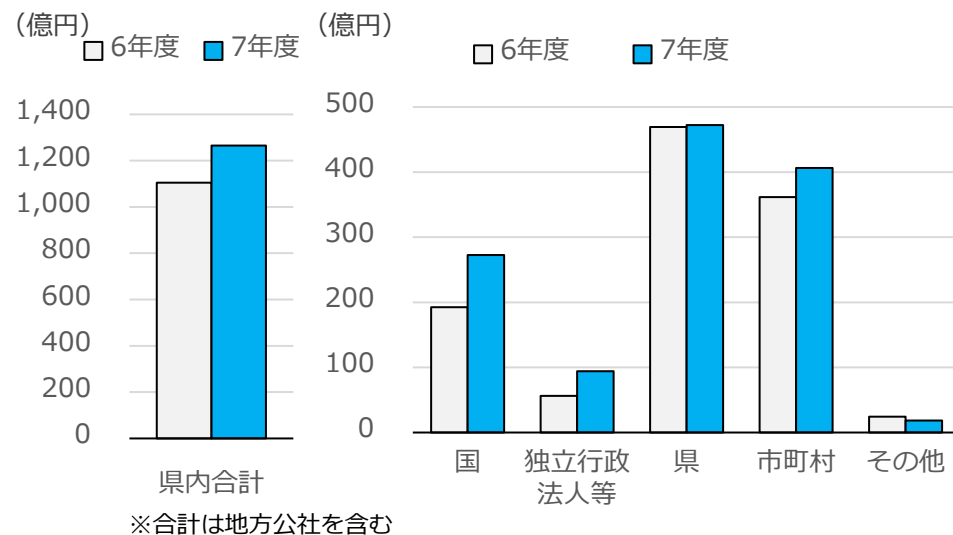
公共事業・住宅建設

公共事業

前年度を上回っている

○前払金保証請負金額でみると、県は前年度並みとなっているものの、国、独立行政法人等及び市町村は前年度を上回っていることから、全体としては前年度を上回っている。

〔徳島県の公共工事前払金保証請負金額（12月累計額）〕



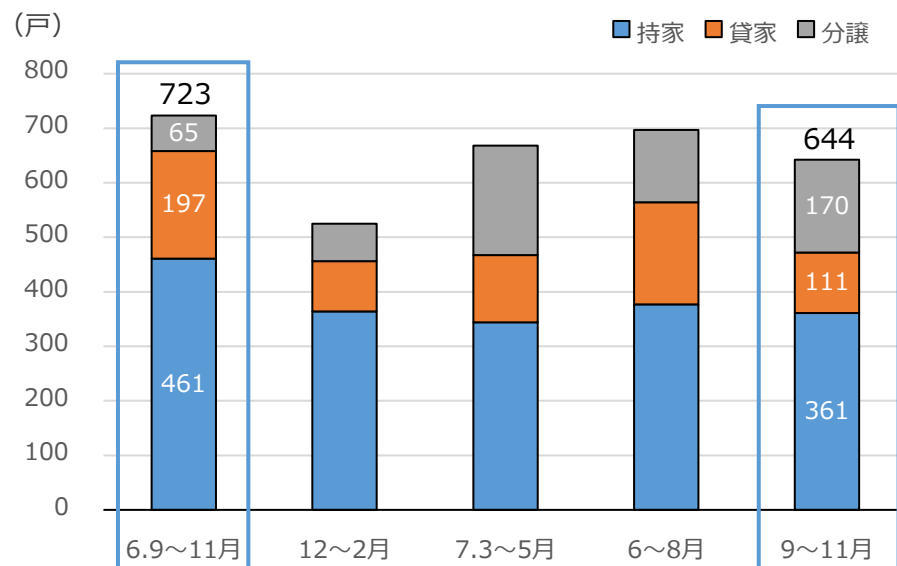
【出所】西日本建設業保証（株）等

住宅建設

前年を下回っている

○新設住宅着工戸数でみると、分譲で前年を上回っているものの、持家、貸家で前年を下回っていることから、全体としては前年同期（9～11月）を下回っている。

〔徳島県の新設住宅着工戸数〕



※合計は給与住宅を含む 【出所】国土交通省の公表データから算出 7

設備投資・企業倒産・消費者物価

設備投資

7年度は前年度を下回る見込み

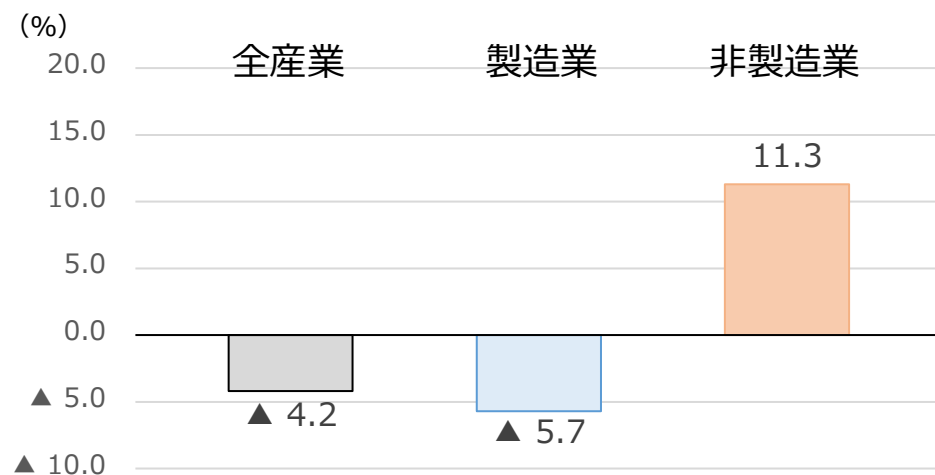
企業倒産

件数、負債総額ともに前年を上回っている

消費者物価

前年を上回っている

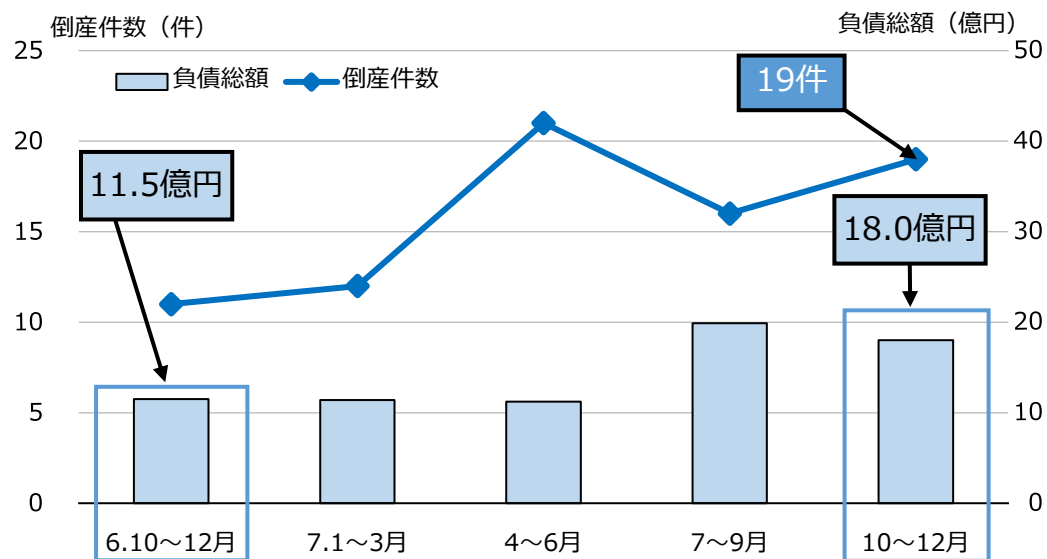
〔徳島県設備投資（前年度比）〕



※7年10～12月期調査の結果

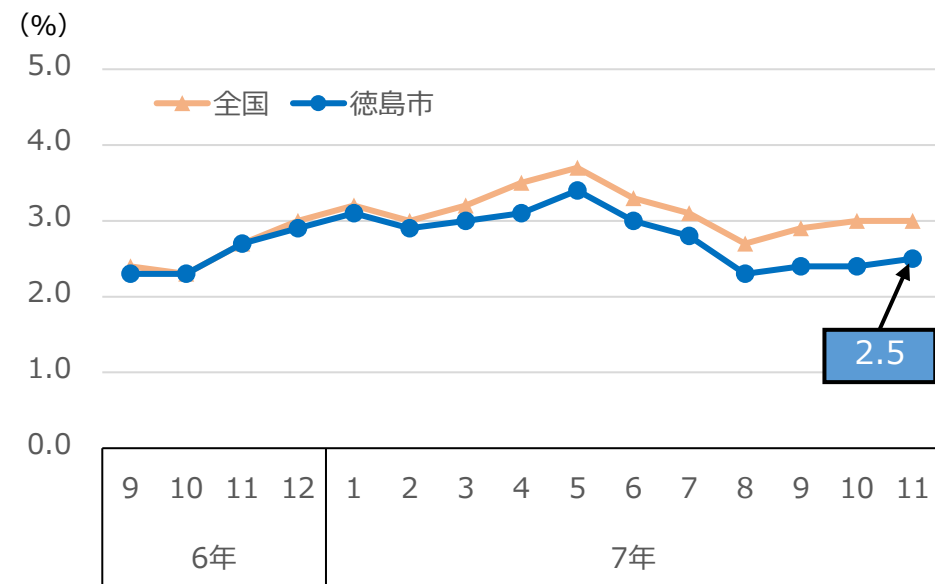
※ソフトウェア含む、土地除く 【出所】 徳島財務事務所（法人企業景気予測調査）

〔徳島県の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）〕



【出所】 東京商工リサーチの公表データから算出

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比、2020年=100）〕



【出所】 総務省



すだちポン

●お問い合わせは

T E L (0 8 8) 6 2 2 - 5 1 8 1

総務課（内線 2 0 1） 又は
財務課（内線 2 1 0） へ

徳島財務事務所

<https://lfb.mof.go.jp/shikoku/tokushima/index.html>

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。